

～當眞先生研修会～

研修テーマ：「宝石箱」

講師：九州大学人間環境研究院教授 當眞 千賀子氏



當眞先生が令和元年10月8日に来園し「宝石箱」というテーマで、園内研修を開催して下さいました。この「宝石箱」というテーマに込められた意味としては、児童養護施設での養育が豊かになるようにというものでした。

研修中では當眞先生より「ユニット化になって職員がどういった施設を作っているか」等の質問が職員に投げかけられ、若手の職員からベテランの職員まで現在取り組んでいることを答える場面があり、當眞先生は「実践は立ち止まらなないと見えない」、「どんな現場でもそこで起きていることに対して全員に責任がある」と助言を職員にくれました。自分の担当しているユニットが落ち着いていても他のユニットのことをどれだけ気にかけているか、他のユニットに対してどんな心持ちかで核家族化を防げると話しており、今後は職員同士で児童の良いことも失敗してしまったことも情報を共有し、他のユニットのことも職員がチームとして一つになって共に解決していくという事を改めて感じさせられた研修となりました。

午後は児童が下校してきてから當眞先生と児童との交流会を開きました。子どもたちは當眞先生とミスタードーナツを食べながら日頃の学校での話をしたり、日々の生活の話をしたりと、とても素敵な時間となりました。

今回は短い時間ではありましたが、子どもたちにも職員にも宝石箱のような時間を過ごす機会を与えてくださりありがとうございました！

～職員感想～

私は今回の研修を受けて、安全委員会についての話というよりは「自分の立場と責任をしっかりと理解しつつ、自分の力量を自覚しスキルアップをしていくこと」が大事だと考えさせられる機会になりました。今後は職員同士で連携していくことで、子どもの心の安定にも確実に繋がっていくと思うので、しっかりと職員間が足並みをそろえられる環境にしていけるよう自分のできることをしていきたいです。

保育士（4年目）古矢景子

今回の研修で私が感じた事は質問しやすい職員の環境が安全委員会を成り立たせると話していてそんな風に安全委員会対応を出来る職員になりたいと思いました。これからは子どもたちのことを守る為に、職員を守る為に記録（児童の良いエピソードも、失敗してしまったエピソードも）を作って情報を共有し、見えない暴力も把握するよう努力するよう努めていきたいと思いました。短い時間ではありましたが、貴重な時間をありがとうございました。

保育士（4年目）内山大輔

私は今回の研修について、当初は、新任からベテランまでの職員がこれまで学んだり実践したりしてきた安全委員会についてのそれぞれの理解を確認し合ったり、必要な場合は学び直したりして再度足並みを揃えていくことを目的とした研修であるのかなと思ながら研修に参加させていただきました。この研修では、私の想像を大きく越え、児童養護施設の職員としての在り方も併せて学ぶことができただけでなく、職員会議規模に及ぶ大勢の職員が聞いている環境で自分の考えを話すという機会がこれまでも私自身ないわけではなかったのですが、腹を割って話すことができたのではないかと感じています。また、普段は聞ける機会があまりなかった私以外の職員さんの様々な考えを聞くことができた機会となった印象もあり、私にとってとても新鮮な研修会となったと振り返っています。

児童指導員（6年目）森本杏衣



安全委員会 10周年に向かって

安全委員会9周年を迎え、次は節目となる10周年を迎える事となります。初心に立ち振り返り研修会や実践を通して学び直し、10年目に向かって行けたら、と思います。

元気いっぱいにかわいらしい笑顔を見せてくれる子ども達。その笑顔を守る為に、安心・安全な生活が保障されるよう、職員が一丸となって、今一度安全委員会方式を見直していきたいと思っています。

集団生活においてトラブルは避けられないものですが、1つ1つ子どもと一緒に解決をしていき、子どもたちが大人へと成長していく姿を見守っていきたいです。そしていつか子どもが養護園から巣立ちを迎える時に「こんなこともあったよね」「楽しかったよね」と笑顔で見送れるような、そんな将来を楽しみにしています。

児童指導員（2年目）藤田裕子

元気いっぱいの日々を養護園で送っていると、時にはぶつかり合ってしまう喧嘩となることがあります。その喧嘩の延長線上では暴力や暴言といった「相手を傷つけてしまう」失敗をしてしまうことがあります。その際には、安全委員会方式を用いてトラブルの解決を図ってきました。安全委員会方式では自分は何を失敗してしまったのかを振り返ることができ、相手の気持ちを考え、知ることのできる大切な場であると感じています。今後も安全委員会方式を実施していく際には子ども達と共に振り返り、成長をしていきたいと思っています。

児童指導員（1年目）松岡空



～安全委員会導入10年目を迎えて～

安全委員会課 主幹 児童指導員 小野 一貴

当園が安全委員会を導入してから10年目を迎えた。導入当時から安全委員会に携わらせていただいている私からすると「もう10年、まだ10年」である。

10年という月日が経つのは大変早く感じるが、一方では「これもできていない、あれもできていない」と時間がいくらあっても足りない。ましてや、当園は10年が経過した中で、子ども達も、そして職員も入れ替わりが起きている。導入当時の「みんなで共に安心して安全な生活を作り上げていこう」という意気込みや安全委員会に対する考え方も薄れ、ずれていく時期でもある。また再度「みんなで0から羊ヶ丘養護園の安全委員会を作り上げていこう」そう感じている。

～編集後記～

安全委員会設立9周年を迎えるにあたり、田嶋先生と當眞先生による貴重な園内研修会を開催することができたと同時に、記念集会では外部委員の皆様にご覧いただき子どもたちの成長を見てもらうことができました。そして、無事に当園の安全委員会設立9周年記念を迎えることができたこと、大変うれしく思います。羊ヶ丘養護園は外部の皆様のおかげがあり子どもたちが安心して生活できることに繋がっています。10周年目に向かい、マンネリ化にならぬよう初心に戻り、職員と子どもたちが「one チーム」となり支え合い、また成長した姿をお見せできるよう頑張っていきたいと思っています。

安全委員会課